

家族看護学	2年・後期	1単位	教授 石原 美由紀 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310952

1. 授業のねらい・概要

家族を対象とした看護は、どのような看護の領域においても重要である。本科目では、家族看護の諸理論および家族を対象とした看護過程の展開を通して家族への看護について学ぶ。

2. 到達目標

1. 家族看護の基本となる諸理論について理解する。
2. 家族を対象とした看護過程の特徴について理解する。
2. 家族看護過程の展開によって家族看護への理解を深める。

3. 授業の進め方

講義と個人ワーク・グループワークを中心に授業を行う。

4. 授業計画（講義・演習）

1. 家族の定義・機能（石原美由紀）	5. 家族看護過程 事例展開（石原・島田）
2. 家族看護過程の特徴（石原）	6. 家族看護過程 事例展開（石原・島田）
3. 家族看護過程 事例展開（石原・島田昇・額田直子）	7. 家族看護の基本となる諸理論（石原）
4. 家族看護過程 事例展開（石原・島田）	8. 家族看護過程のまとめ（石原）

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）70%、事例展開30%で総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：ナースング・グラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版

看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術 メヂカルフレンド社

参考文献等：講義中、適宜資料配布する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

事例展開の予習（事例を読み込み、演習シートの記入）を行う。また講義で行った内容を復習すること。

8. 受講上の留意事項

積極的、自主的に講義および事例展開に臨むこと。

9. 課題に対するフィードバックフィードバック方法

試験の解答は試験後に口頭にて解説する。

提出された課題は教員が確認して返却する。内容が不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、習得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は、以下の経験を活かして実施されます。

行政機関及び医療機関における保健師としての実務経験を活かして、講義・演習を行う。